

『大学入試問題集 岡本梨奈の古文ポラリス[1 基礎レベル]』

訂正とお詫び

当書籍(第1～13刷)につき、記載の誤りがございました。以下の箇所を訂正の上、お詫び申し上げます。

KADOKAWA 編集担当

該当箇所	誤りの記載	正しい記載
◆本冊 p.61・62 「問3 空所補充(係り結び) 基本 」/「 <input checked="" type="checkbox"/> 正解へのプロセス」	(右記参照)	*「 <input checked="" type="checkbox"/> 正解へのプロセス」を、以下の内容に差し替えます。
◆本冊 p. 65 9行目	⇒ 問2 で見たように、～	⇒ 問2 ・ 問3 で見たように、～

「正解へのプロセス」差し替え

ステップ1 空欄が文末⇒上をざっと確認すると「こそ」があるので、空欄＝「已然形」です。

ステップ2 選択肢の中で已然形を探すと、**ア**「じ」[○/○/「じ」/じ/じ/○]、**ウ**「め」[○/○/「む」/む/め/○]、**オ**「れ」[ら/り/「り」/る/れ/れ]で、すべて助動詞です。助動詞は接続が重要。「じ」「む」の接続は未然形です。「り」の接続は、サ変の未然形[＝「せ」]か四段の已然形[＝「え」]で、どちらも **e 段** です。空欄の上は「ら」ですから、e 段ではありません。よって、**オ**は×。ちなみに、「たてまつら」＝ラ行四段「たてまつる」の未然形です。

ステップ3 **ア**か**ウ**は、意味によって判断します。「じ」＝打消推量・打消意志、文末の「む」＝推量・意志・勧誘・適当です。「じ」は打消系⇒文脈が打消になるかどうかを考えます。**問1**・**問2** から、資季は具氏に、「お前の質問くらいどんなことにも答える」「賭けで勝負しよう」と言いました。空欄 **A** を含むセリフは、そう言われた具氏による返答です。「学問的なことはわからないので、尋ね申し上げるまでもない」のです。そして、「～問ひたてまつら **A** 」と言います。最後が「問わないという打消だと、何も質問しない⇒勝負を放棄することになります。後ろの「何ごとなりともあきらめ申さむ」(＝どんなことでも明らかにし申し上げよう)は、資季のセリフと考えられ、また、近習の人々や女房などが「興あるあらがひ」(＝おもしろい争い)と言っていることから、勝負をすることになったのです。そうすると、打消を入れると後ろにつながらないため、**ア**は×で、正解は**ウ**です。ちなみに、具氏は「なんとなく取るに足りないようなことの中で、はっきりしないことをお尋ね申し上げよう」と言っており、この「む」(め)は**意志**です。